

やる気培う 居場所議論

沖大土曜講座



「子どもの居場所から問
い直す」へ復帰40
年〳の地域社
会シンポジウ

ムが13日、那覇市の沖縄大
学で開かれた。教育や保
育、障がい児支援などの分
野から5人が意見を交わし
た。学校の在り方や子ども
の居場所などテーマに、学
力だけでは計れない、子ど
ものやる気を培うような
「居場所」や仕組みをどうつ
くるかを話し合った。

聴覚障がいのある子ど
もを支援している桑江彩子
さんは「子どもは安心でき
る場所にいとだんだんエ



子どもの居場所について話し合っ
た沖縄大学土曜講座のシンポジウ
ム13日、那覇市の沖縄大学

ネルギーをため外に出て自
分で何かしようという気持
ちになる。子どもが巣立ち、
いなくなっていくのがいい
居場所だと思おう」と語った。
障がい児発達支援を続
ける谷口るり子さんは親の
支援も大切だとしつ、「完
璧な親はいない」との考
え方を紹介した。

県の子童福祉行政に長
年関わってきた山内優子さ
んは、沖縄は日本への復帰
後に経済の振興ばかりが優
先され、福祉が立ち遅れて
きたと指摘。それが現在、
子どもたちの貧困を招いて
いると主張した。